

● 「FUSSA BASESIDE STREET」はUS\$が使える商店街！

1960年代、1ドル360円の時代には、アメリカ人向けのテーラーやスーベニアショップなどが立ち並び、国道16号沿いの米軍横田基地前のどの商店でもドルの受け入れができていました。まさに“リトル・アメリカ”と呼ばれるにふさわしい光景がそこにはありました。1970年代に入り、ベトナム戦争の終結、変動相場制による急激な円高の進行など、様々な要因によってドルの利用が抑制されてきた経緯がありました。

それから十数年が経ち、現在の商店街は米軍基地前という独特の雰囲気を背景に、若者向けのファッション・雑貨店、ホビーショップや多国籍の飲食店、米軍基地関係者向けの店舗などの多様な業態が立ち並んでいます。来訪者は減少傾向にあります。こうした背景から、商店街ではかつての“リトル・アメリカ”としてのさらなるイメージアップと賑わい創出を図るために、通称「FUSSA BASE SIDE STREET」としての商店マップの作成やイベントの実施などに取り組んできましたが、十分な解決策にはなっていないのが実情です。

一方で今年の2月に、基地前商店街の国道16号の街路樹をヤシの木に変更し、カリフォルニアテイストな街並みとして今後の期待が膨らみます。そこで、より多くの来訪者が何度も訪れてくれるまちづくりを進めるために、東京都に観光まちづくりアドバイザーの派遣を要請し、(株)アルメックの海口さんを講師として協議を重ねてきました。

様々な企画が持ち上がりしましたが、まず第一弾として実現したのが“ドルが使える商店街の復活”です。海外旅行で余ったドル紙幣やコインが机の引きだしに眠っている人も多いと思いますので、それをこの商店街で使って頂ければと期待しています。また米軍基地関係者にとってもドルで買い物ができる気軽さは便利です。もちろん、お釣りは日本円でもドルでも要望に対応します。今後は、10\$パーゲンなども企画中ですので、余ったドルをお持ちの方をはじめ、多くの皆様のお越しをお待ちしております！

Please come to FUSSA BASE SIDE STREET. My best regards.

※毎日JP（毎日新聞）記事「福生市・商店街ぐるみで“ドル歓迎”米軍客呼び戻し狙う」⇒
<http://mainichi.jp/select/wadai/news/20100828k0000e040052000c.html>

※MSN産経ニュース記事「福生にアメリカンなヤシ並木出現」⇒
<http://sankei.jp.msn.com/region/kanto/tokyo/100215/ky1002151702006-n1.htm>

※ドルが使える商店マップ（PDFファイル）⇒
http://www.almec.co.jp/info/pdf/FBSS_map.pdf

松本貴宏（横田基地前商店街米ドル利用促進委員会・委員長）

● 横浜カーフリーデー2010

9月23日（木・祝日）、横浜でカーフリーデー2010を実施します。2004年に始まったこのイベントは今年で7回目となりますが、毎年NPOやその他民間団体が中心となった市民による手作りのイベントとなっています。

今年のテーマは「バス再発見」ということで、横浜市を走る全てのバス事業者のバス10台が日本通りに勢ぞろいするほか、スタンプラリーやぬり絵コーナー、フリーマーケット等色々なイベントが開催されますので、ご家族と一緒に横浜へお出かけください（公共交通で！）。

また、9月20日には昨年から後援していただいている横浜市の主催による「横浜のバス交通を考えるシンポジウム」も開催されます。詳細は下記のホームページをご覧ください。

横浜カーフリーデーホームページ：<http://www.ycfd.org/>

大沼安秀（取締役）

● 東南アジア諸国とバングラデシュの都市の発展度と交通事情

先日、タイ、インドネシア、バングラデシュの3カ国の首都に立て続けに訪れる機会を得ました。この3カ国に現在出張中のベトナムを加え、その首都の交通事情を都市の発展度合いと考察すると、地域内で大きく異なることに改めて驚かされます。

バンコク（タイ）では都市高速道路ネットワークが整っており、公共交通は鉄道（地下鉄、スカイトレイン）あり、BRTあり。また先日、域内最大規模の空港へのアクセス高速鉄道の試運転が始まりました。公共交通の施設は清潔で使い勝手が良く、海外に不慣れな旅行者でも安心して利用できます。ジャカルタ（インドネシア）でもバンコクほどのサービス水準では無いですが、軌道系公共交通があり、都市高速道路ネットワークが整っています。一方、ハノイ（ベトナム）は上記2都市と比較して、まだ都市高速も都市鉄道もありませんが、現在発展著しいこの国では、都市交通インフラ・サービスの拡充が急ピッチで進められています。

さて、ダッカ（バングラデシュ）は上記の国々と比較すると、衝撃的です。高密度な都市区域でも市内道路が十分に整備されておらず、大渋滞を引き起こしています。また、市内を走るバスはどれも20年以上前のもので、ドアや窓が無く超満員です。あまりにも多くの課題がある中、今後、どのようにして交通状況を良くするか、一筋縄ではいきません。現地政府、ドナー機関が共同しつつ、本腰を入れて取り組む必要があります。既にJICAや世界銀行では新たな公共交通の導入を考慮に入れた調査が進められています。最近、バングラデシュでは繊維加工業が活発になっており、外資も多く入るようになってきました。経済発展に向けたバングラデシュの人々の底力に期待したいです。

坂井孝典（海外室）

発行責任者：代表取締役 庄山 高司
事務局：株式会社アルメック 業務部
東京都目黒区青葉台 1-19-14
電話 03-5489-3211・FAX 03-5489-3210
Eメール hotnews@almec.co.jp
ホームページ <http://www.almec.co.jp/>

Copyright 2010 ALMEC Corporation. All rights reserved.